



きずな

フューチャーリーグPブロック

フューチャーリーグPブロックの結果は以下の通りです。

- | | |
|----------|----------------------|
| ①拓北 | (12勝1分1負 勝点37 得失+54) |
| ②南月寒 | (11勝2分1負 勝点35 得失+22) |
| ③札幌美園 | (8勝1分5負 勝点25 得失+23) |
| ④小野幌 | (8勝1分5負 勝点25 得失+11) |
| ⑤花川南イレブン | (5勝2分7負 勝点17 得失-11) |
| ⑥FC当別 | (4勝2分8負 勝点14 得失-9) |
| ⑦伏見 | (1勝2分11負 勝点5 得失-45) |
| ⑧東橋 | (0勝4分10負 勝点4 得失-37) |

フューチャーリーグPブロックは東橋、FC当別U-12、花川南イレブン、札幌美園、小野幌、伏見、南月寒、拓北の8チームで6年生が少ないチームのブロックとなりました。優勝は拓北と南月寒が拮抗していましたが僅かな差で拓北が優勝しました。Pブロックは6年生が少ないこともありましたが約半数のチームが3年生以下の選手が参戦しており、頑張っていました。



優勝した拓北の選手

ブロック全体を通して拮抗したゲームが多く、同カードの対戦がある中で1週目には大勝したが2週目では拮抗したゲームなるなど、長期リーグ戦の目標が達成された試合も多かったです。

点差的看着ても大差の試合がほとんどなく、各チームが反省点を次に生かし互いに切磋琢磨する様子が見られました。

ゲーム内容もポゼッション主体で組み立てて攻撃するチーム、現代サッカーを踏襲したようなショートカウンターを多用するチーム等、拮抗したリーグ戦の中でも様々なチームカラーが凌ぎ合っていました。

また、チームによっては2・3年生に出場機会を与え育成面からも難しい分はあったとは思いますがとても有意義なリーグ戦となったのではないかと思います。



東橋のハーフタイムのベンチ様子

今回、各チームのご協力をいただき、天候にも恵まれ全日程を終了できたことに感謝します。特に当別町悠遊公園天然芝の会場を確保していただいたFC当別U-12の指導者・父母会感謝も申し上げます。今後リーグ戦のブロックを組むにあたりチームの構成などよりこまやかに配慮する必要性を感じました。また、リーグ戦を行うにあたり会場確保、運営、指導者・保護者の資質向上などが長期リーグ戦で養えればと思います。最後にPブロックの指導者・保護者等に運営等にご協力を頂き感謝申し上げます。



悠遊公園会場での試合の様子